



Road To Lord



遊び方の動画↓



内容物

・カード：68枚 ・ルールシート：1枚



ストーリー

地方領主たちはさらに領地を賜うため、王により多くのものを捧げることを競っていた。誰かが捧げものを贈ると、他の領主も負けじと同じ捧げものをする。

剣を捧げより大きな忠誠を誓うか、貢物としてより多くの麦を納めるか、はたまた嗜好品としてより良いワインを捧げるか…。そしてより多く捧げ、覚えがめでたいものが新しい領地を賜れるのだ。

金貨や宝石はよりアピールするための絶好の贈り物だ。王は金も宝石も好きなのだ。

しかし、王にはその時々で一番欲しいものがある。他の領主を出し抜いて王の欲するものを差し出せば、より大きな信頼を得られるだろう。

8つの季節、すなわち2年で王の信頼を得て新たな領地を賜るのだ。

ゲーム概要

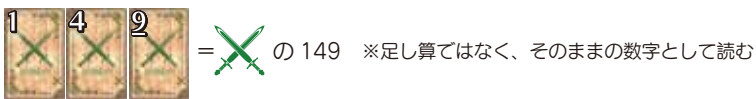
8回の「王への献上」(ミニゲーム)を行い合計得点が高い人が勝ち **トリックテイキング**

王への献上とは？

時計回りに全員が1度ずつ「数」を出し合い強さ比べをすること **トリック**

「数」の作り方

- 同じマークのカードを何枚でも並べて1つの「数」にする **独自ルール**
- 左から小さい数字順に並べる



- 0と00は剣(LOYALTY)・麦(TRIBUTE)・ワイン(LUXURY)のいずれかのマークのカードと一緒に何枚でも出せる(0や00のみでは出せない)
- 0と00は一緒に出したカードの右に並べて出す
- 00は最初の人だけが出せる
- 0は最後の人以外が出せる



カードのマーク



剣(LOYALTY)
剣を納め忠誠心の高さをアピールする。



麦(TRIBUTE)
より多くの麦を年貢として納め領地の運営能力をアピールする。



ワイン(LUXURY)
より美味しいワインを嗜好品として納め技術力をアピールする。



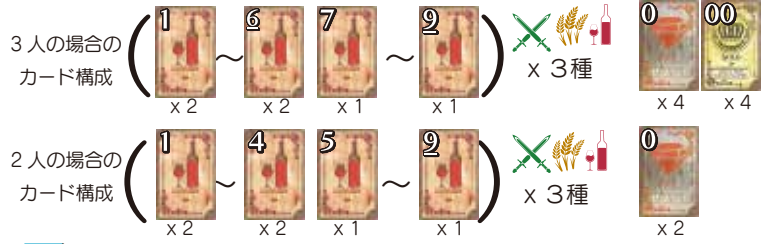
宝石(GEM)
王は宝石も好むので贈り物に添えると効果は絶大。ただし最後に贈り物をする者が宝石を送ったならば王にあげすけな賄賂と認識されるので絶対にしてはならない。



金貨(GOLD)
贈り物に金を添えることは王へのアピールの古来からの常套手段。ただし最初に贈り物をする者以外が金貨を送ったならば王に卑しいご機嫌取りと認識されるので絶対にしてはならない。

準備

- 01 3人の場合「4+」マークがあるカードを除外する
2人の場合「4+」と「3+」マークがあるカードを除外する



- 02 カードをよく混ぜて山札にする
2人の場合、山札の上から5枚を捨て札にする

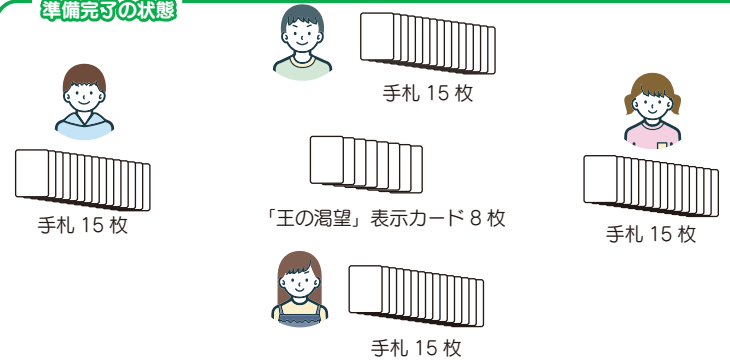
- 03 8枚のカードを表にして「王の渴望」表示カードにする **王の渴望=切り札**

- 少しずつずらして重ねる
- 一番上が次の「王への献上」時の「王の渴望」マーク
- 2人の場合6枚のカードをとり、除外されている「00」2枚と混ぜ合わせて8枚の「王の渴望」表示カードとする

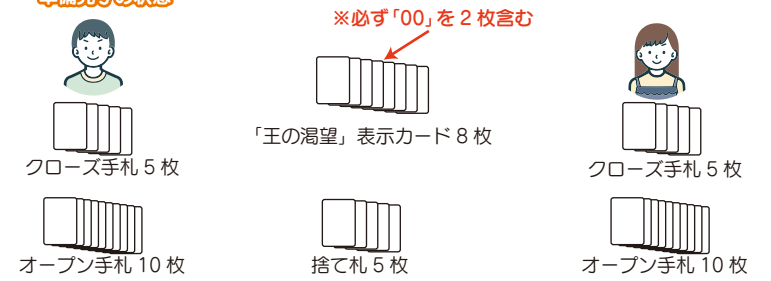
- 04 残りのカードを全員に均等に配りきる

- 05 じゃんけんなど適当な方法で最初の「数」を出す人を決める

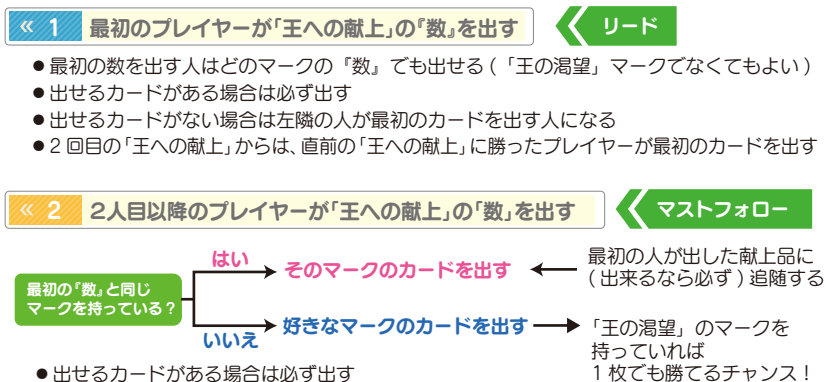
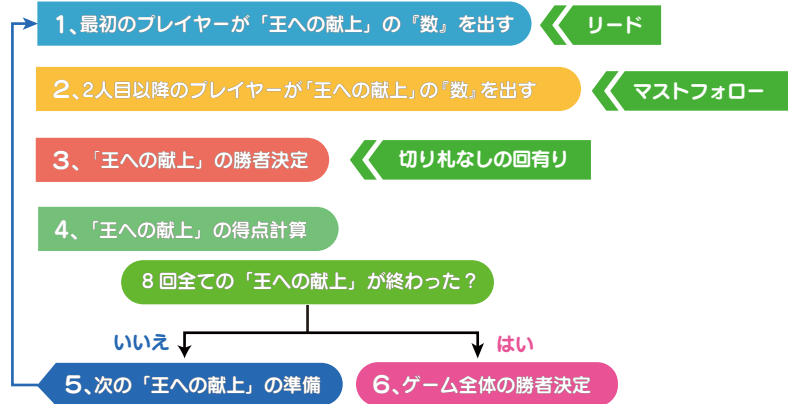
3~4人の場合の準備完了の状態



2人の場合の準備完了の状態



ゲームの流れ



「王への献上」の勝者決定

- 「王の渴望」のマークを誰かが出した
- はい → 「王の渴望」のマークを出した人の中で一番大きい数を出した人が勝ち
 - いいえ → 最初の人が出したカードと同じマークを出した人の中で一番大きい数を出した人が勝ち
- 切り札なしの回有り
- 引き分けの場合は先に出した人の勝ち
 - 「王の渴望」表示カードが0か00の場合は「王の渴望」なしとなり常に「いいえ」の状態になる

「王の渴望」のマークを出した人の中で一番大きい数を出した人が勝ち

「王の渴望」がでていないので最初のマークのうち一番大きい人が勝ち

どんなに数が大きくても「王の渴望」ではないので負け

どんなに数が小さくても「王の渴望」が強いので勝ち

Tips

いずれかのマークをなくすと「王の渴望」を出せる可能性がある！
逆に全てのマークを持っていると自分だけ「王の渴望」を出すチャンスがない！

「王への献上」の得点計算

- 得点は勝者が使用したカードの枚数によって変わる
1,2枚 → 3点 / 3,4枚 → 4点 / 5枚以上 → 5点
- 捨て札の中から適当に得点分の枚数を裏向きにして受け取り、得点表示として自分の前に置いておく
- 何回勝ったかわかるように「王への献上」ごとに分けて置いておく

3点

4点

5点

5点

5枚以上は何枚出しても5点

- ※ペナルティ！（罰則点）**
- 「数」が作れず「王への献上」に参加出来ない場合は、1回の「王への献上」につきマイナス2点
- 既に獲得しているカードを2枚捨て札にするとかわりやすい
 - 8回全ての「王への献上」終了後、残っている手札1枚につきマイナス1点
- 既に獲得しているカードを1枚捨て札にするとかわりやすい

次の「王への献上」の準備

- 使用済みカードを捨て札にする
- 一番上の「王の渴望」表示カードを捨て札にする（「王の渴望」の更新）
- 捨て札は全て裏向き

ゲーム全体の勝者決定

- 合計得点が一番多かった人が勝利！
- 同点の場合は勝った「王への献上」が多い方が勝利
- それも同じ場合は引き分け（もう一度やって決着を付けよう！）
- 人数と同じ回数のゲームをやって合計得点で勝負するのもオススメ！

1回の「王への献上」の例

「麦」を持ってないから「王の渴望」の「剣」を出せるぞ！

何でも出せるのでとりあえず「麦」8を出す！

最後の王に捧げるものは「麦」に決定

「王の渴望」の「剣」を出したいけど最初に出された「麦」を出さないといけなくない！

ちょっと強い56麦で勝負！

「麦」9では勝てない…「金貨」を付けて「麦」90としよう！

強い順に並べると最後の人が3番目の人>2番目の人>最初の人になる！

WINNER WINNER WINNER

2人で遊ぶ時のルールは？

- 配られた15枚の手札のうちランダムな10枚をオープンし、5枚だけを相手に見えないように手に持つ
- オープンされた10枚も手札として使用する
- 1度にオープン手札とクローズ手札の両方からカードを出して使用してよい
- 各「王への献上」で1人が2回「数」を作る場合がある
- それぞれ1回目までは（プレイできるなら）必ずプレイしなければならない
- 先手番が後手番に負けている場合、先手番が2回目をプレイできる（しなくても良い）
- 先手番2回目が出したカードは最初に出したカードと混ぜ合わせて「数」を作り直す
- 後手番が先手番2回目に負けている場合、後手番が2回目をプレイできる（しなくても良い）
- 後手番2回目が出したカードは最初に出したカードと混ぜ合わせて「数」を作り直す
- 後手番の2回目は0が出せない
- 「王への献上」不参加のペナルティは無し
- 残り手札のペナルティは有り

先手手札 5 6 8

後手手札 1 2 3 7

1回目 5 → 1 7

2回目 5 6 → 1 3 7

負けているので追加できる

既に出ている1,7と新たに出した3を混ぜ合わせて「数」を作る

ゲームデザイン：中村良
グラフィックデザイン：伊勢雅徳
制作・発行：ラディアスリー株式会社
<https://radiuthree.co.jp/>

最新の情報は Road To Lord のサイトをご覧ください
<https://radiuthree.co.jp/products/12-numazu-analog/>

内容物に不備がある場合は以下のフォームからお問い合わせください
<https://radiuthree.co.jp/contact/>